

静岡

## 浜松城天守閣 リニューアルオープン

浜松市では、「家康公浜松城築城450年事業」の一環として、天守閣内部の展示物など、大幅なリニューアルを行い、竣工式を2020(令和2)年12月27日に浜松城公園で開催しました。

浜松城の復興天守閣は1958(昭和33)年に市民からの寄付などで建設されました。

竣工後60年が経過し、施設内の展示や装飾が老朽化していたこともあり、2020(令和2)年が徳川家康公が浜松城を築いてから450年の節目に当たることから実施したものです。

今回のリニューアルでは、天守閣には年間約20万人が訪れており、浜松城公園の魅力を高めるとともに、市民や来園者の満足度の向上を図ることを目的としています。

1階は「情熱の層」として、若さ溢れる勇猛果敢な3D像の家康公を置き、迫力あふれる映像を流すとともに、家康公が居城していた17年間を中心に、当時家康公が置かれていた時代背景や家康公を取り巻く人などに焦点を当てたりリニューアルを行いました。

2階は「情勢の層」としてジオラマ模型とプロジェクションマッピングで浜松城の前身である引間城から浜松城の築城・改築・廃城、現在の浜松城へと至る歴史を

通史的に紹介し、浜松城と城下町の変遷を解説しています。

3階は「情景の層」として、歴代城主が見たであろう城下の眺めを楽しむことができます。

また、天守の一部を地元天竜杉のFSC材を活用し木質化しました。城としては全国初のプロジェクト認証を受けています。

このほか、市内に所在する見学可能な城跡を紹介し、浜松城が有する重層的な歴史の周知と市内各地の城郭へと誘う拠点となる展示、実物資料を交えた最新発掘調査成果の詳細な解説、家康公ゆかりの地や伝説・食文化を案内する豊富な情報、また、インバウンド効果を図るため、多言語にも対応したパネルの制作・展示を行いました。

浜松市では、多くの皆さまに愛され、たくさんの人に訪れていただくことを期待するとともに、地域の活性化にも役立てることを目指しています。

装いを新たにした浜松城は、学びの場としてはもちろん、復興天守閣など、浜松の歴史を改めて振り返ることができる施設になりました。

450年という時の流れの中で、時代とともに移り変わる浜松の姿を、ぜひ堪能してみませんか。



若き日家康決戦にかける情熱のドラマ



ジオラマとプロジェクションマッピング